

平成25年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	板東俘虜収容所整備活用事業		担当部署	教育委員会 生涯学習人権課(室)	
総合計画体系			根拠法令計画など	文化財保護法・鳴門市ドイツ村公園実施基本計画	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり	事業期間	開始	平成 <input type="text" value="19"/> 年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと			終期
(小項目)		文化財			
施策	3	文化財の保護と活用			
基本事業	2	文化財の保護と活用			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 板東俘虜収容所跡						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	収容所跡地を国指定史跡化することによって跡地の再整備を行い、歴史遺産として保存活用する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		国指定史跡化	○	○	○	○	○	

◎実施結果(DO)

事業実施内容	24年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行ったのか	史跡指定申請範囲の境界復元を行うため、土地に関する資料の調査を実施した。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
	指標名	23年度実績	24年度実績	25年度目標	26年度目標	27年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	発掘調査および指定申請書類の作成	1	0	1	1	件
	2	境界復元作業の事前調査		1			
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>		国指定史跡化	○	○	—	—	—
		目標達成率(実績/目標)		—	—	—	—

コスト分析		23年度実績	24年度実績	25年度	26年度	27年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)	2,081	0	4,000	4,000	1,000	千円	
	財源内訳	国	1,040	0	0	0		500
		県	520	0	0	0		250
		地方債	0	0	0	0		0
		その他	0	0	0	0		0
		一般財源	521	0	4,000	4,000		250
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		4,033	1,951	4,777	5,384	4,372	人	
人件費内訳	正規職員(6,721千円/人)	0.6	0.2	0.5	0.5	0.5		
	臨時職員等(2,023千円/人)		0.3	0.7	1.0	0.5		
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		6,114	1,951	8,777	9,384	5,372	千円	

◎平成25年の実施状況(DO)

現在の実施状況	国指定史跡の範囲を確定するため、土地境界復元作業の実施にむけた準備を進めている。
---------	--

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	国・県との連携により早期の指定を目指すことが可能。また調査結果から重要な史跡として評価できることから、市民の文化的生活の向上に資する地域資源である。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策 文化財の保護と活用 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	国指定史跡として地域の歴史遺産を保護することによって、観光振興及び地域活動の拠点となる整備を進め、周辺の文化的地域資源との総合活用を図ることができる。
		<input checked="" type="checkbox"/>	① 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	
<input checked="" type="checkbox"/>		② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。		
<input checked="" type="checkbox"/>		③ 事業対象は適切である。		
<input checked="" type="checkbox"/>		④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価			理由等所見欄	
8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。	国指定史跡化と資源維持のための整備・保全是市が主体となり、指定後の活用事業は積極的に地域との協働を進める。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 効率性向上の余地はない。		

◎今後の方向性(ACTION)

課題					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> ▼ <input type="text"/> ▼			
	どのように改革するのか				